

令和8年5月1日

市政記者 各位

## 令和8年度「ふくおかしの家計簿」の発行について

この度、本市の令和8年度予算や財政状況についてわかりやすくまとめた、市民向けパンフレット「ふくおかしの家計簿」を昨年引き続き作成しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1 掲載内容

- (1) 令和8年度予算の概要
- (2) 福岡市の財政状況
- (3) 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組み

#### 2 配布・閲覧時期

令和8年5月1日から配布・閲覧

#### 3 配布・閲覧場所

配布・閲覧：市役所1階情報プラザ、各区（各出張所）情報コーナー

閲覧のみ：情報公開室、総合図書館、議会図書室、市民福祉プラザ等

※本市ホームページにも掲載します。

URL：<https://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/zaisei/shisei/kakeibo.html>

#### 【問い合わせ】

財政局財政部財政調整課長 松田、橋本  
電話：711-4165（内線1510）

令和8年度



# ふくおかしの 家計簿

## 目次

### 予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？令和8年度の予算は？ …………… 01
- 収入（歳入）と支出（歳出）の内訳は？ …………… 01～02
- 市民一人あたりにすると？ …………… 03
- 予算を「家計」に例えると？ …………… 04
- どのような事業に使うの？ …………… 05～10

### 福岡市の財政状況はどんなの？

- 収入や支出はどうなってるの？ …………… 11
- 新たにいくら借金するの？ …………… 12
- 借金はいくらあるの？ …………… 12
- なぜ借金をするの？ …………… 13
- 借金を減らしているけど、施設の更新（投資）はしないの？ … 13
- 貯金はいくらあるの？ …………… 14
- 福岡市の財政状況のまとめ …………… 14

### 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？ …… 15
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた令和8年度における取組みは？ …… 16

**福岡市の  
令和8年度予算  
財政状況  
将来にわたり持続可能な財政  
運営に向けた取組み  
を紹介します！**

# 1 予算とは？ 何に使っているの？

[この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。]

## ●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが収めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。福岡市の予算は、どの収入がどこに使われているか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、3つの会計に分かれています。

## ●令和8年度の予算は？ ( )は前年度

**全会計 2兆1,867億円** 前年度比 2.5%増  
(2兆1,343億円)

**一般会計 1兆1,318億円** 前年度比 1.7%増  
(1兆1,128億円) 福祉や教育、道路や公園の整備など行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。

**特別会計 6,919億円** 前年度比 3.7%増  
(6,674億円) 使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。福岡市には現在13会計(国民健康保険事業、介護保険事業など)があります。

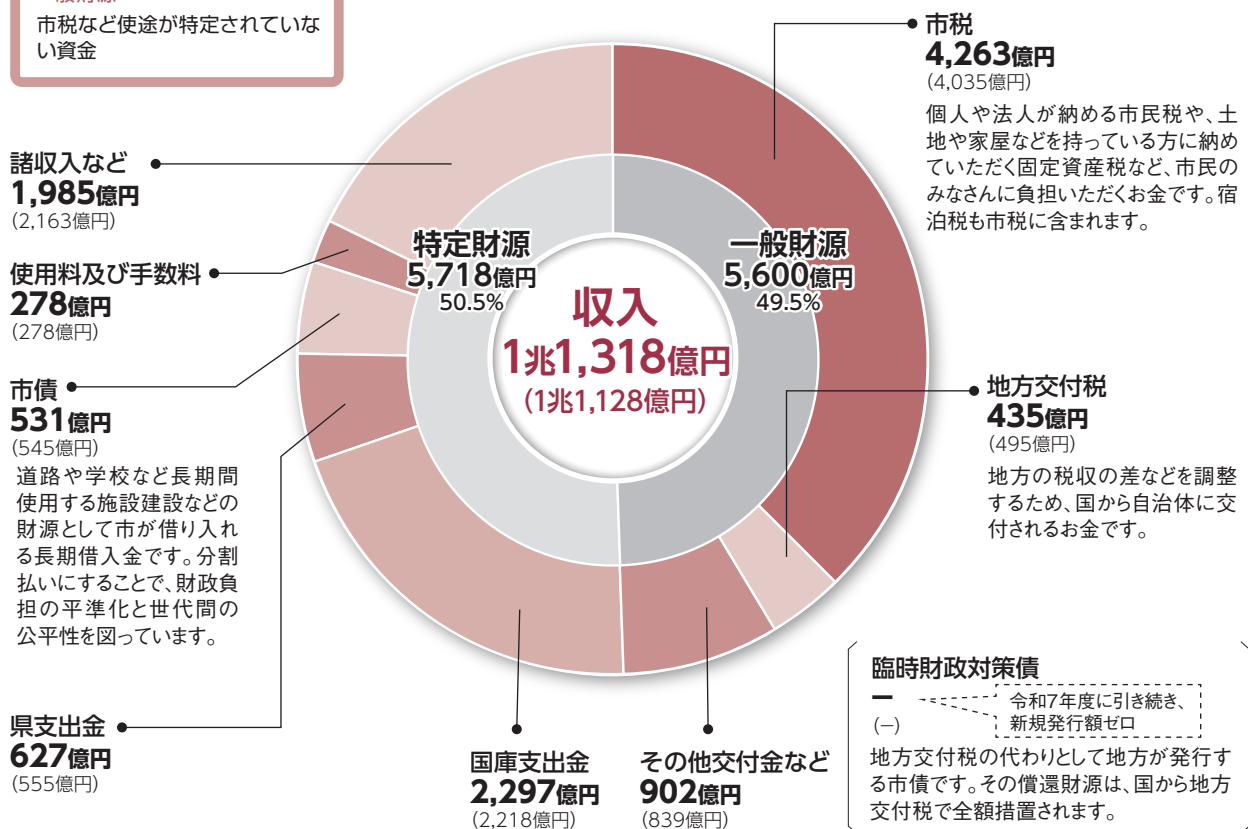
**企業会計 3,630億円** 前年度比 2.5%増  
(3,541億円) 民間企業と同じように、事業収益で運営している会計です。福岡市には現在6会計(モーターボート、集落排水、下水道、水道、工業用水、地下鉄)があります。

## ●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？ ( )は前年度

<一般会計の収入> 収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金などがあります。

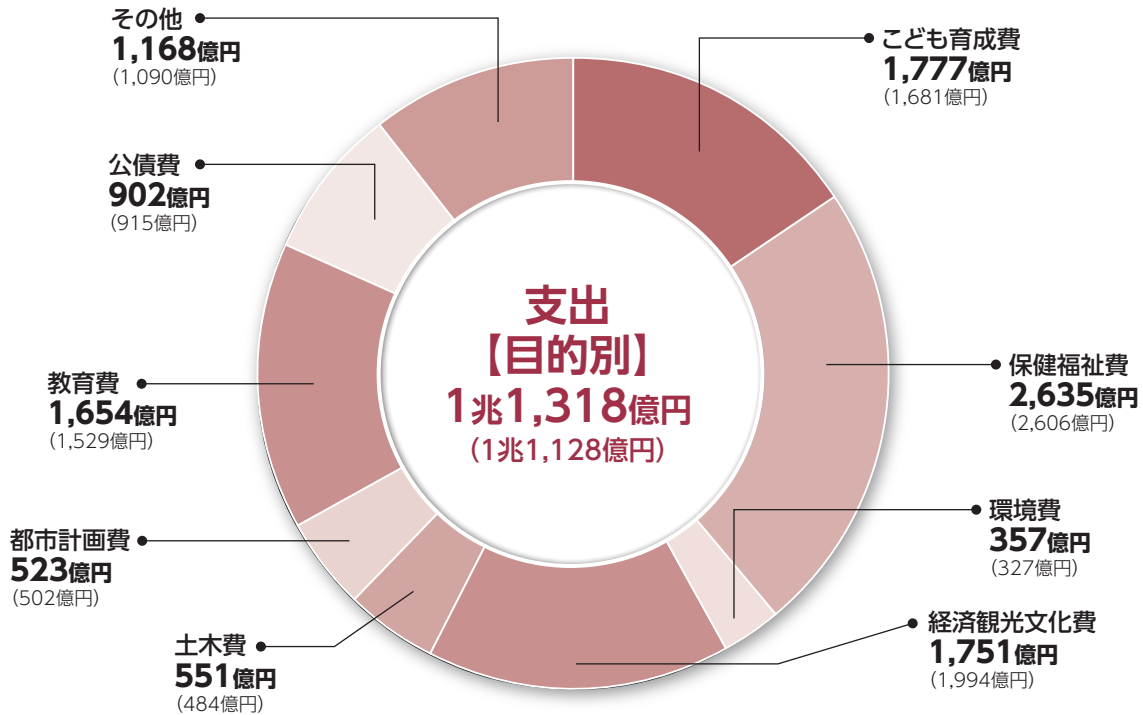
### 用語の解説

**一般財源**  
市税など使途が特定されていない資金



## <一般会計の支出>

**【目的別】** 予算では、目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。  
目的別の支出の内訳を見ると、子育てや教育、保健・医療・福祉などにかかる予算が全体の54%を占めています。



**【性質別】** 予算は目的別だけでなく、人件費や物件費など性質による分類からも、どれだけ使うのか見ることができます。

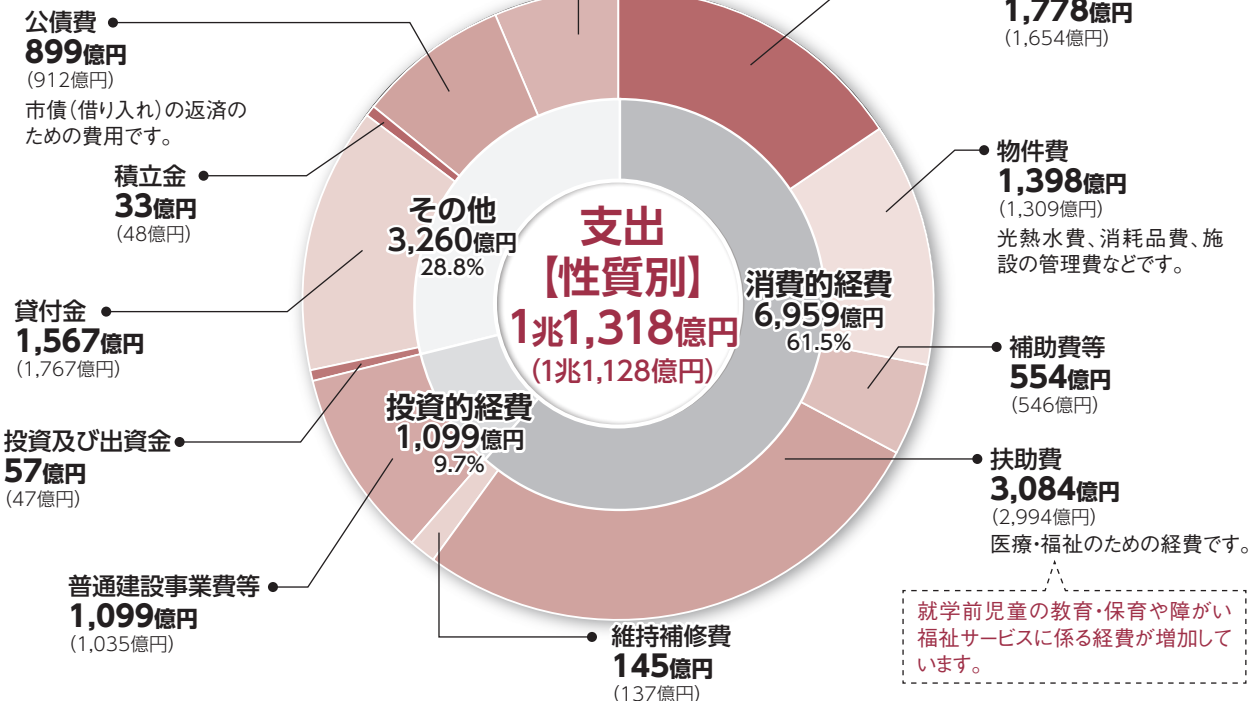
### 用語の解説

#### 投資的経費

道路や公園、学校など社会資本を整備するための経費






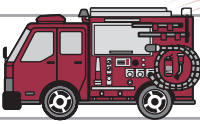

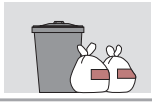



#### 繰出金

特別会計・企業会計に支出する経費です。



## ●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約70万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	令和8年度予算		市民一人あたりの予算 ※
	億円	円	
こどもの育成や学校・教育に 	3,512	216,690	(31.0%)
保健・医療・福祉に 	2,646	163,270	(23.4%)
地域経済の発展に 	1,761	108,652	(15.6%)
道路・住宅・計画的なまちづくりに 	890	54,890	(7.9%)
行政の運営に 	776	47,872	(6.9%)
災害に強いまちに 	510	31,474	(4.5%)
地域活動・文化・スポーツに 	401	24,751	(3.5%)
清潔なまちに 	361	22,263	(3.2%)
公園整備や緑の保んに 	190	11,728	(1.7%)
地下鉄・水道事業の支援に 	165	10,173	(1.5%)
新鮮で安全な食料の提供に 	106	6,518	(0.9%)
合 計	11,318	698,281	(100.0%)

※令和7年12月末現在の住民基本台帳登録人口(162万853人)で割っています。

※( )内は、構成比を示しています。

## ●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算（1兆1,318億円）を年間の収支が500万円（1ヶ月あたり41万6,000円）の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。  
諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう自治体間格差を解消するため、国から交付されるものです。  
また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

## ふくおか家・1カ月の家計簿

### 《収入》

給与	33万9,000円
（うち基本給 （市税などの自主財源）	18万8,000円
諸手当 （地方交付税や国・県支出金など）	15万1,000円
銀行からの借入 （市債）	2万円
銀行からの引き出し金など （貸付金元利収入）	5万7,000円
計	41万6,000円

### 《資産》

家や車、預貯金など	1,508万8,000円
-----------	--------------

### 《支出》

医療費・保育料など （扶助費）	11万4,000円
ローンの返済 （公債費）	3万3,000円
食費 （人件費）	6万5,000円
光熱費や通信費など （物件費等）	5万2,000円
家・車・電化製品の修理・買い替え （維持補修費、普通建設事業費等）	4万6,000円
家族への仕送り （繰出金、補助費）	4万6,000円
銀行への預け金など （貸付金等）	6万円
計	41万6,000円

義務的経費

### 《負債》

ローン残高	662万6,000円
-------	------------

ローンを3万3,000円返済する一方、新たな借入は2万円に抑えました。

借入残高を減らす努力をしており、令和6年度決算でのローン残高は、662万6,000円です。一方、家や車などの資産は、1,508万8,000円あり、健全な家計運営に努めています。

医療費・保育料など（扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）、の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数（家庭における食費の占める割合）が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、51%です。

## ●どのような事業に使うの？

# 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

### 健やかなこどもの育成

子育て世帯の市内での住替えや  
三世代同居・近居を支援 **4億3,000万円**

市内に住み続けたい子育て世帯や市内での三世代同居・近居への支援として、転居する際の住宅取得費用や家賃、引っ越し費用等を助成します。



乳幼児家庭の一時的な預かりの拡充  
子どもプラザの増設 **5億124万円**

乳幼児親子などが気軽に交流や相談ができる子どもプラザを増設します。ベビーシッター派遣事業や、一時預かり事業について、受け皿を強化します。



学校給食費の無償化及び質の向上  
**92億7,930万円**

学齢期の子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食費を無償化します。また、質の向上のため、食材料費を増額するとともに、小学校への新たな調理機器の導入に着手し、献立の充実に取り組みます。

市独自の教員配置  
(小学校20人、中学校12人) **1億7,855万円**

子どもの学びの質の向上のため、教員が授業準備の時間を十分確保できるように、国の基準を超えて市独自に教員を配置します。



### サポートを必要とする子どもたちやその家族の支援

医療的ケア児の家族のレスパイトの拡充  
**1億2,409万円**

医療的ケア児の家族の負担軽減のため、自宅等での訪問看護の利用時間を年48時間から年104時間に拡充するとともに、相談支援体制の充実を図ります。



医療的ケアが必要な児童・生徒の  
宿泊行事参加を支援 **448万円**

医療的ケアが必要な児童・生徒が、修学旅行等の宿泊行事に安心して参加できるように、訪問看護師の同行費用を支援します。



医療的ケア児・重度障がい児の保育所  
等での受入体制を強化 **6,306万円**

医療的ケアが必要な児童や重い障がいを持つ児童の受入れに向けて、看護師や保育士を常時確保する保育所等を指定し、支援します。



産前・産後サポートの拡充  
**5億3,031万円**

個別での産後ケア(宿泊型・日帰り型・訪問型)の実施に加え、母親同士の仲間づくりや情報交換もできる、複数人を対象とした集合型の産後ケアを新設します。



## 次代を担う若者の支援

### 日本人大学生の海外留学を支援

2,881万円

海外留学を希望する市内大学生を応援・後押しするため、福岡よかトピア国際交流財団が実施する日本人大学生留学奨学金（グローバルチャレンジ応援奨学金）の対象者拡大を支援します。

### 市立高等専門学校を設置

9,267万円

高度デジタル人材の育成のため、市立高等専門学校の新設に向けて、カリキュラムの検討や校舎の設計などを実施します。

概要  
(予定)

- ▶ 令和11年4月開校
- ▶ 定員80人/学年
- ▶ 情報工学系1学科
- ▶ 2つのキャンパス  
高学年：百道浜  
低学年：油山

## 何歳でも元気に活躍し、誰もが安心して暮らしやすいまち

### 障がい者スポーツセンターの移転建替に向けた基本構想の策定

3,542万円

障がい者スポーツセンターについて、すべての障がいのある人がスポーツを楽しみ、挑戦できる場となるよう、移転建替に向けた基本構想を策定します。



現在の障がい者スポーツセンター

### 新しい市民病院の基本構想を策定

2,918万円

市民病院の移転整備に向けて、医療機能や施設などについて検討し、基本構想を策定します。



現在の市民病院

### 障がいのある方への文化芸術鑑賞サポート

453万円

演劇公演や展示などにおいて、字幕、手話通訳、音声ガイド等の鑑賞サポートを実施する民間団体に対して費用を助成し、障がい者等の文化芸術の鑑賞機会の充実を図ります。

### 高齢者の元気の維持・回復を支援

4,032万円

心身の機能が低下した高齢者への早期のアプローチや継続的な支援の仕組みを検討するとともに、介護事業所における重度化防止の取組みを推進します。



### 生活にお困りの方への相談支援体制の強化

7,067万円

生活自立支援センター分室を全区役所に設置し、専門の相談支援員が関係機関等と連携して相談内容に応じた支援を実施します。



### 動物愛護管理センター基本構想の策定

982万円

動物愛護管理センターについて、動物福祉や市民の利便性の向上に向けた再整備の基本構想を策定します。



# 都市インフラと歴史・文化を感じるまち

## 都市交通を次のステージへ

### 総合交通体系づくり

2,500万円

総合交通体系づくりに係る調査・検討や、地下鉄箱崎線と西鉄貝塚線との直通運転化、井尻駅周辺の連続立体交差化、地下鉄延伸(空港、姪浜橋本間)の実現可能性の検討に取り組みます。

### 地下鉄七隈線車両増備及び

### 6両編成化検討

30億2,059万円

七隈線の混雑緩和に向け、令和8年度から9年度で車両を4編成増備するとともに、6両編成化を検討します。



### 道路の混雑緩和の推進

21億2,780万円

道路交通の混雑緩和に向け、「福岡市駐車場ナビ」の博多駅地区への拡大などに取り組みるとともに、道路ネットワークの整備やボトルネック交差点の対策検討等に取り組みます。

### 持続可能な生活交通の確保

2億6,169万円

バス路線の休廃止に伴う公共交通空白地への代替交通確保を行うとともに、公共交通不便地等において拡充した支援制度などを活用し、運行エリアを新たな地域に広げるなど、地域の実情に応じた持続可能な生活交通の確保に取り組みます。



## 都心部等のまちづくり

### 官民連携による公共性の高い基盤整備

1億9,300万円

新天町街区における公共性の高い基盤整備(商店街通路)を伴う事業や、メルヘン通りの地下における地下鉄天神駅ときらめき通りをつなぐ新たな公共地下通路の整備に、官民連携して取り組みます。



### 那珂川沿いの魅力向上

6,578万円

Park-PFIによる清流公園の供用開始や、那珂川沿いの護岸のライトアップ、イベントによる賑わいづくりなど、魅力的な水辺空間の創出に取り組みます。



## 新たな価値を生み出すまち

### 福岡アジア美術館の魅力向上

2億1,760万円

警固公園地下への施設拡充にかかる基本設計や、令和9年度に開催を計画しているアジアの現代美術の最新動向を紹介する大規模国際展に向けた調査・準備を行います。



福岡アジア美術館  
Fukuoka Asian Art Museum

### ボートレース福岡パーク化

6億8,736万円

初心者から上級者まで誰もが楽しめる国内最大級の屋内型スケートボード場を核とするパークを整備します。



## 花と緑があふれるまち

### 動植物園のリニューアル

8,318万円

動物福祉の充実及び魅力向上のため、トラ舎・ライオン舎を含むエリアのリニューアルに向けた基本設計を行います。



**Fukuoka Zoo &  
Botanical Garden**  
福岡市動植物園

### Fukuoka Flower Show の開催

9,013万円

花をテーマとしたMICEとして福岡市植物園において「Fukuoka Flower Show 2027」を開催します。



## 自然や歴史等を活かしたまち

### 鴻臚館の復元整備

12億3,241万円

鴻臚館東門(令和8年秋頃完成予定)及び堀の一部の復元整備や、映像コンテンツを活用した鴻臚館跡展示館のリニューアル(令和8年度未完了予定)に取り組みます。



### 明治通り(舞鶴公園エリア)歩道の再整備

4億9,200万円

舞鶴公園エリアにおいて、国史跡福岡城跡・鴻臚館跡などの歴史資源を活かした魅力向上を図るため、明治通りについて、公園内の景観と調和した歴史を感じる歩道の再整備に取り組みます。



### 海辺を活かした観光振興

2億6,096万円

志賀島・北崎地区において、観光周遊促進に向け、豊かな自然環境と調和した道づくりや、市営渡船と連携したイベント開催、立ち寄りスポットの整備、エリアの魅力向上や情報発信などに取り組みます。



### 博多旧市街プロジェクト

2億6,101万円

歴史・文化に配慮した趣ある道路整備に取り組むとともに、認知度・回遊性向上に向けた博多旧市街フェスティバルや常設装飾の実施、歴史・文化の体験や情報発信機能を備えた伝統継承施設の基本計画策定などに取り組みます。



## 環境にやさしく快適なまち

### よりクリーンで快適な公園づくり

1億3,611万円

身近な公園における除草やトイレ清掃等管理の充実、トイレの洋式化の推進に取り組みます。



### より安全で快適な道路環境整備

7億364万円

安全で快適な道路環境の整備に向けて、車線分離線などの区画線の引き直しや歩道のがたつき解消に取り組みます。



# 防災など主要事業

## 災害に強いまちづくり

### 地域防災計画の全面的な見直し

2,268万円

実効性を更に高めるため、新たな被害想定等も踏まえ、ハード・ソフト両面から防災対策を検証・検討し、地域防災計画を全面的に見直します。

### 水道・下水道の安全・災害対策

366億1,078万円

上下水道施設の計画的な維持・更新や、災害拠点病院などの重要施設に接続する管路の耐震化などを推進します。

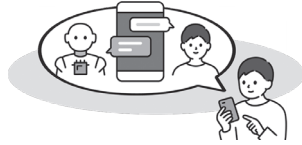
水道は、老朽化した配水管の更新、下水道は、浸水対策の「雨水整備Doプラン2026」が、それぞれ令和8年度に完了します。

## 人とAI・DXがつくるめくもりのまち

### AI活用の推進

6,372万円

市情報サイトへの生成AIチャットボットの搭載や、AI電話の導入、高校生や高齢者向けの生成AI活用講座の実施など、AIの活用を推進します。



### SNS 人権侵害救済サポート

1,213万円

SNS等で誹謗中傷などの人権被害を受けた方を対象に、24時間対応のチャットボット相談窓口を設けるとともに、削除依頼などの手続きの伴走支援を実施します。また、案件に応じ、無料の弁護士相談にもつなぎます。



## 地域の産業と働く人を応援するまち

### 中小企業等で働く従業員の奨学金返還を支援

3,587万円

従業員への奨学金返還支援制度を導入している市内中小企業に対し企業負担額の一部を助成します。



### 地産地消の推進

2億375万円

魅力ある市内産農水産物の学校給食への提供や、生産の様子を伝える動画の配信により、子どもたちの地元産食材に対する理解や愛着を深め、将来にわたって持続可能な地産地消を推進します。



## コミュニティ施策の推進

### 東・南・早良区役所の更新検討

2,301万円

三区庁舎(東区・南区・早良区)の更新に向けた検討に着手します。

### 街頭防犯カメラの補助拡充

6,670万円

地域が設置する街頭防犯カメラの設置費用に加え、維持管理にかかる費用の補助を開始します。



# 各区のまちづくり

## 東 区

### 市民窓口の混雑緩和

254万円

不動産会社を通じ、転出入予定者に、オンラインでの転出届や来庁予約、必要書類等を周知するチラシの配布や、マイナンバー窓口の充実などを実施します。



## 博多区

### 専門学校による地域コミュニティ活性化事業

161万円

数多くの専門学校が立地する博多区の特徴を活かし、地域と専門学校とのマッチングから地域活動の企画、実施までサポートする伴走型の支援・調整を行います。専門学校が持つ様々な専門性を活かした共創事業を通じて、地域活動と地域コミュニティの活性化を図ります。



## 中央区

### 中央区認知症・MCI 予防の啓発

39万円

MCI(軽度認知障害)・認知症予防に関する講演会やタブレットを用いた認知機能の簡易検査を実施し、元気なうちから認知症予防のセルフケアに取り組むことができるよう、オーラルケアや運動講座、広報活動による啓発を行います。



※AIにより作成

## 南区

### 来庁者に寄り添った丁寧な案内の充実・強化

772万円

本館1階フロアに点在する発券機を集約し、案内員を増員します。また、来庁目的を確認したうえで整理券を発券し、目的の窓口を案内するなど、来庁者に寄り添った丁寧な案内を実施します。



## 城南区

### 地域コミュニケーション支援事業

326万円

地域活動の担い手の発掘と地域内のコミュニケーションの活性化を図るために、ボランティアや地域貢献に関心がある方を広く募り、地域活性化のための交流事業等を企画、提案いただき、地域のみなさんと実現に向けて取り組みます。



## 早良区

### 公民館利用者開拓事業 (早良区 STEAM 教育推進事業) 71万円

若年層の公民館利用を促進するため、子どもと保護者向けのプログラミング教室などのSTEAM学習を実施し、「誰もが立ち寄りたくなる公民館」の実現につなげます。



## 西 区

### オンライン手続きサポートコーナー

317万円

繁忙期の混雑緩和対策として、転出届などのオンライン手続きへの誘導・サポート・周知を行います。また、各種証明書発行については区役所設置のマルチコピー機への誘導・サポート等を行います。



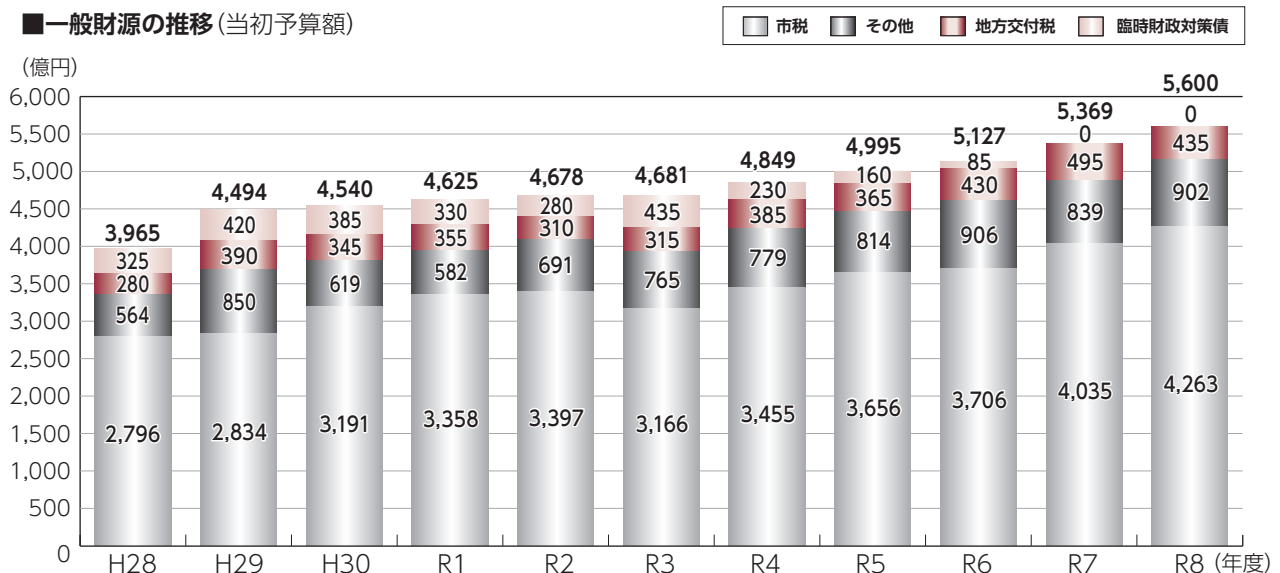
## 2 福岡市の財政状況はどんなの？

### ●収入や支出はどうなってるの？

#### 一般財源は増加

一般財源のうち、市税収入は、納税義務者や給与収入の増加、企業収益の増加、地価の上昇や新增築家屋の影響等に伴い、過去最大となりました。一方で、市税収入の増加等に伴い、地方交付税は減少しています。

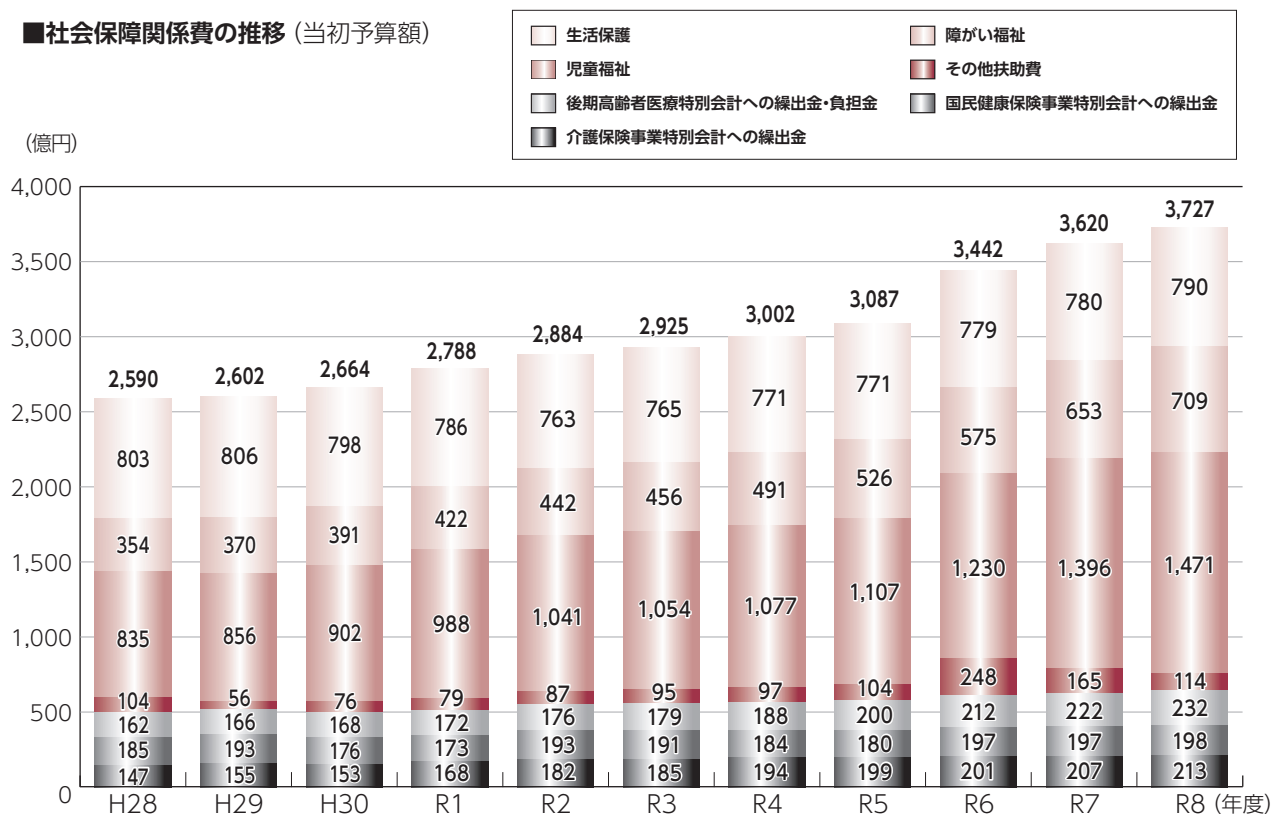
#### ■一般財源の推移(当初予算額)



#### 伸び続ける社会保障関係費

医療や介護保険などの福祉サービス関係の経費に加え、子ども・子育て支援の拡充などにより児童福祉に係る経費も増加しています。

#### ■社会保障関係費の推移(当初予算額)

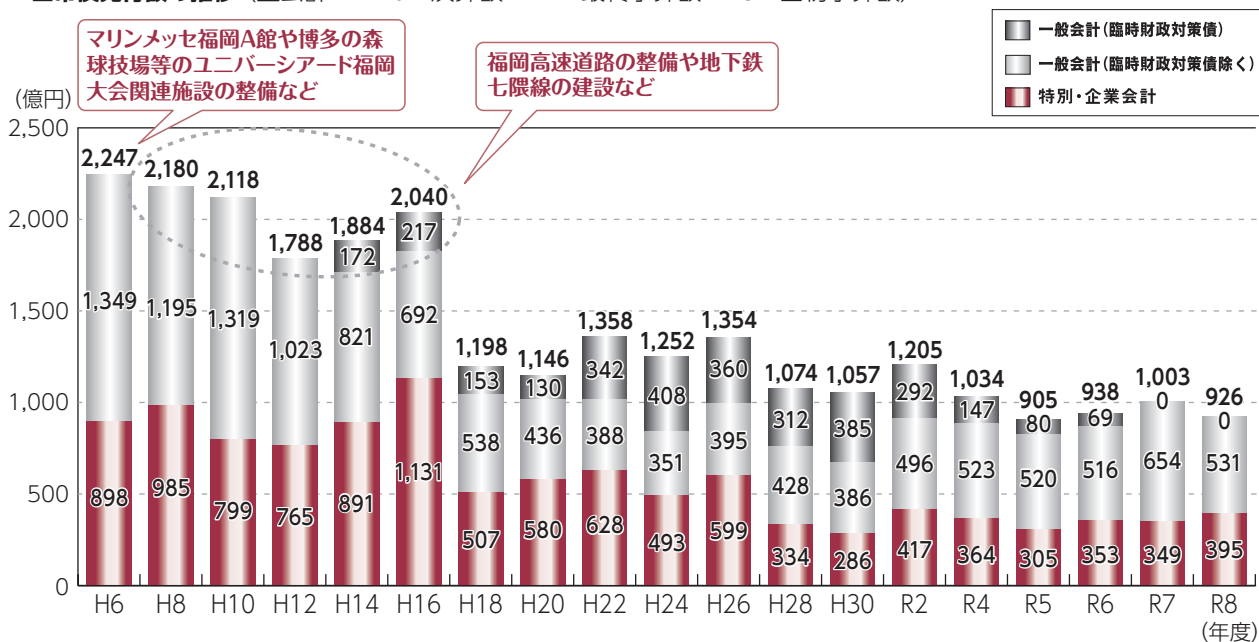


## ●新たにいくら借金の？

### 市債発行額は、926 億円(特別・企業会計含む)

令和8年度の市債発行額は926億円です。平成初期から中期にかけては、都市基盤の整備などで市債発行額が2,000億円を超えることもありましたが、近年は1,000億円程度で推移しています。

■市債発行額の推移(全会計 ~R6:決算額 R7:最終予算額 R8:当初予算額)



## ●借金はいくらあるの？

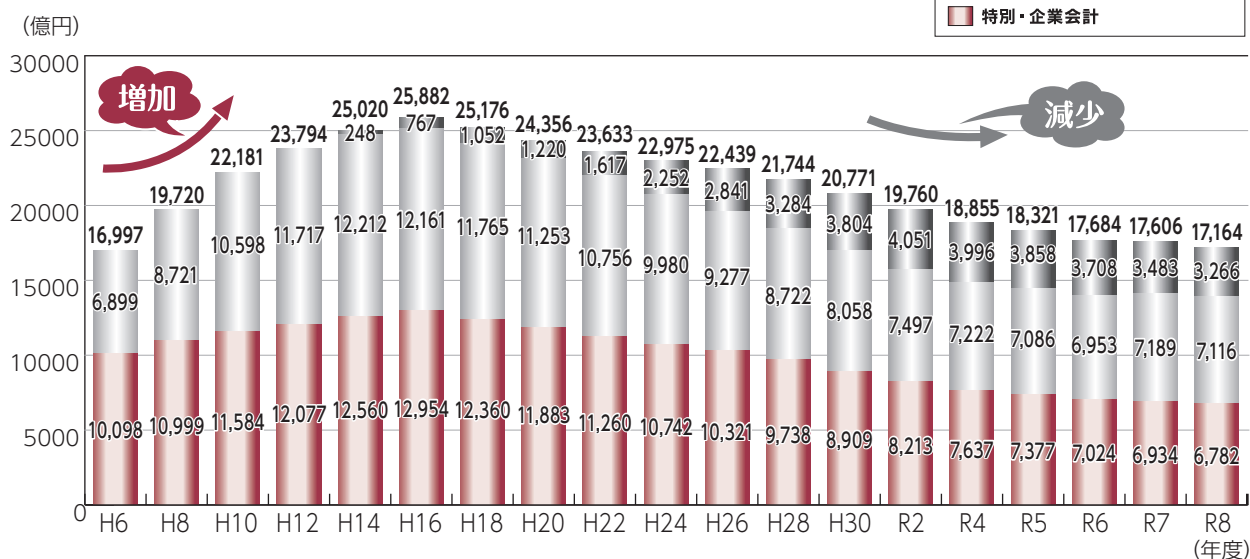
### 市の借金は、およそ1兆7,164億円

市債残高は、ピーク時の平成16年度末には2兆5,000億円以上になりました。その後、毎年、新たに発行する市債の額を抑制することなどにより、市債残高は着実に減ってきており、令和8年度末には1兆7,164億円程度になる見込みです。

また、国が償還額の全額を地方交付税で措置する臨時財政対策債を除き、市民一人あたりに換算すると約86万円で、ピーク時(平成16年度末:185万円)の半分を下回っています。

■市債残高(満期一括積立金を除く)の推移

(全会計 ~R6:決算額 R7:最終予算額 R8:当初予算額)



## ●なぜ借金をするのか？

### 主に下水道や道路など、将来世代の市民も使う公共施設をつくるため

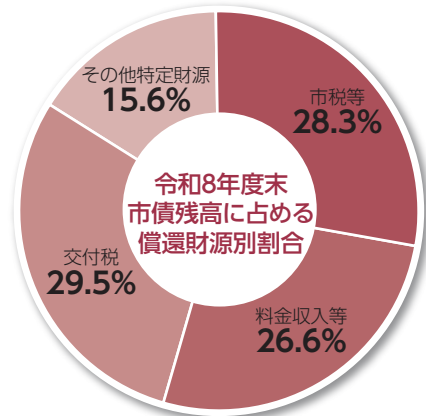
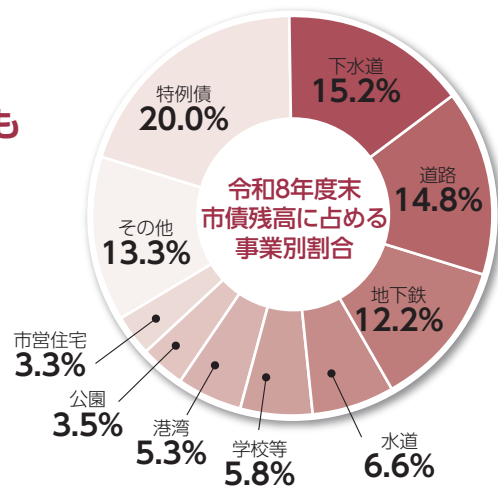
市債(借り入れ)は、主に何十年の長期にわたって使用する公共施設をつくるための財源となっています。その理由は、下水道や道路などの長期にわたって使用する公共施設については、施設をつくる年の市民だけで全ての建設費用を負担するのではなく、施設を使用して便益を受ける将来世代の市民にも負担してもらうことが公平だと考えられるためです。

福岡市では、かつて下水道や道路、地下鉄などの整備を積極的に行い、市債残高は増加した反面、市民生活に寄与する社会資本整備が飛躍的に進みました。

市債(借り入れ)の償還(返済)には、市税や地方交付税等の一般財源のほか、その施設の使用料等の特定財源が充当されています。

#### ■市の社会資本の整備水準比較

	1995年度	2024年度
下水道普及率(人口普及率)	97.3%	99.7%
都市計画道路の整備率	47.6%	85.2%
地下鉄の営業キロ数	17.8km	31.4km
水道施設能力(供給できる水量)	704,800m <sup>3</sup> /日	780,900m <sup>3</sup> /日



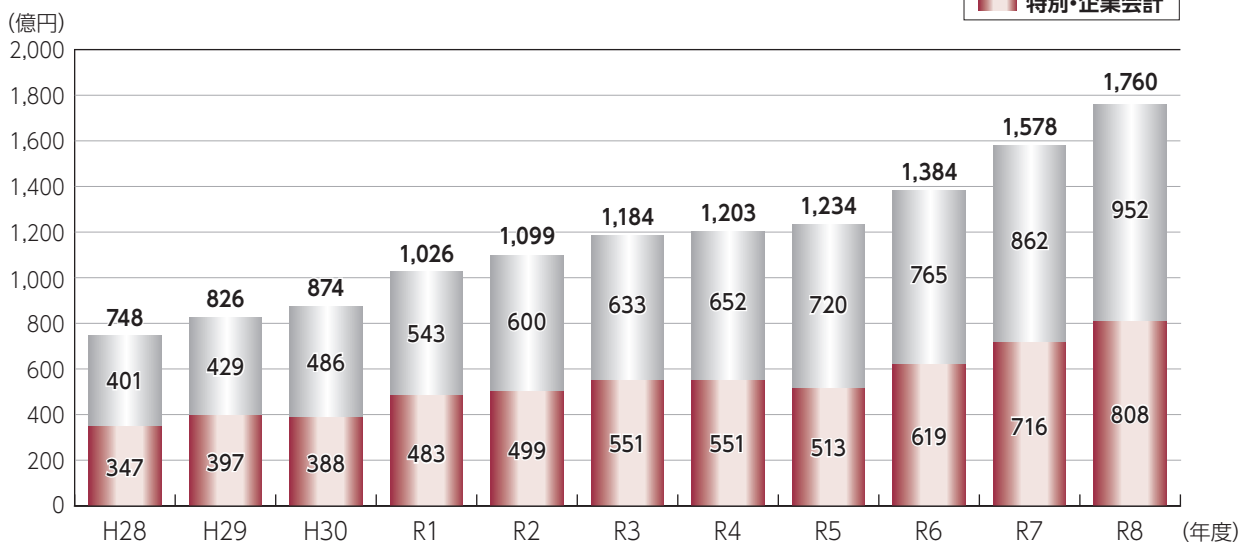
## ●借金を減らしているけど、施設の更新(投資)はしないの？

### 公共施設などの長寿命化や機能向上、建替えなどに1,760億円(特別・企業会計含む)

令和8年度のアセットマネジメント\*事業費は1,760億円です。学校の大規模修繕や市営住宅の建替えなど、市民が市有施設を安全・安心に利用できるように、市債発行をコントロールしつつ施設の更新などの公共工事を行っています。

#### ■アセットマネジメント事業費当初予算の推移

(国予算関連の2月補正における前倒しを含む)



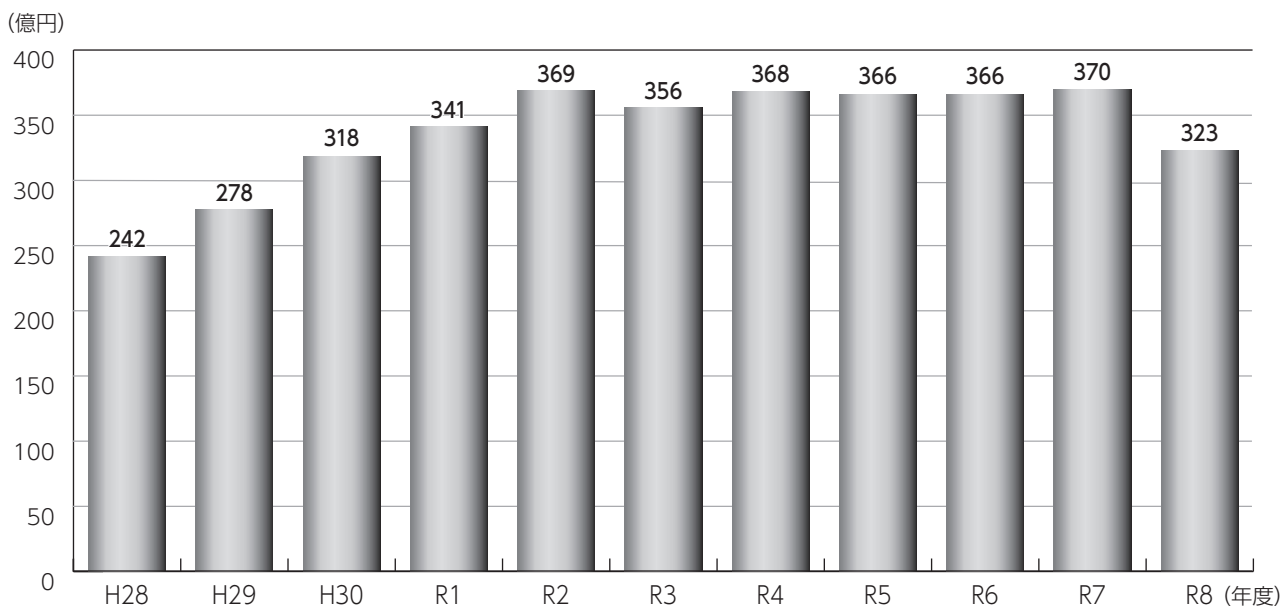
\*アセットマネジメント:公共施設を適切な管理水準に保つとともに、計画的な施設の整備、維持管理、大規模修繕などを実施することにより、施設を長寿命化してコスト縮減を実現する資産管理手法

## ●貯金はいくらあるの？

### 財政調整基金の状況

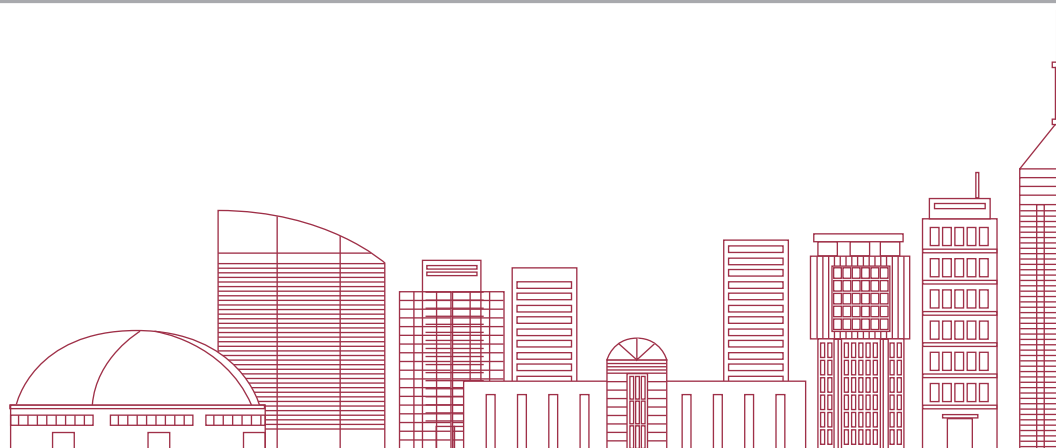
財政調整基金は、不測の事態に備えるための基金で、財源に余裕がある場合や決算剰余金が発生した場合に積み立てを行っています。経済情勢の変動によって財源が不足する場合や、災害発生など緊急に支出が必要な場合等に取り崩して活用しています。

■財政調整基金残高の推移（～R6：決算額 R7：決算見込額 R8：当初予算額）



## ●福岡市の財政状況のまとめ

- 令和8年度は、市税収入が増加し、一般財源は増加しています。
- 医療や介護保険などの福祉サービスに加え、子ども・子育て支援などの児童福祉に係る社会保障関係費が増加しています。
- 借入れ残高は確実に減少しつづけています。市民一人あたりに換算すると、ピーク時の半分を下回っています。
- 公共施設などの長寿命化や機能向上、建替えなどの投資にも力をいれています。
- 将来世代に過度な負担を残さないためにも、投資と借入れのバランスをとりながら、健全な財政運営の取組みを着実に進めていきます。



# 3 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

※財政運営プラン(令和7年6月)より抜粋

## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？

### <基本的な方針>

- 社会保障関係費や公共施設の建替えなどに係る経費が増大していく中であっても、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、市民ニーズの多様化、突発的な災害や経済情勢の変化に柔軟に対応しながら、生活の質の向上と都市の成長のために必要な施策を着実に推進していくため、政策推進プランに基づき投資の選択と集中を図るとともに、歳入の積極的な確保や行政運営の効率化、既存事業の組替えなど不断の改善に取り組みます。
- また、中長期的には、施策事業の推進により税源の涵養を図りつつ、超高齢社会に対応する持続可能な仕組みづくりやアセットマネジメントの推進、市債発行の抑制による市債残高の縮減などにより財政構造を強化し、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組んでいきます。

### <主な取組み>

#### 取組1 歳入の積極的な確保

- ①市税及び税外債権の確保
- ②市有財産の有効活用等による財源の確保

#### 取組2 行政運営の効率化

- ①民間活力・最先端技術の活用
- ②企業会計・特別会計における経営改善
- ③外郭団体等の見直し

#### 取組3 役割分担、関与の見直し

- ①ガイドラインに沿った補助金の適切な運用
- ②国・県との財政負担の適正化
- ③規制緩和による民間活力の誘導

#### 取組4 行政サービスの最適化

- ①既存事業の組替えなど不断の改善
- ②個人給付施策等の最適化
- ③受益者負担の適正化

#### 取組5 アセットマネジメントの推進

- ①施設の老朽化への適切な対応
- ②施設の維持管理コストの縮減
- ③施設規模や配置等の最適化

#### 取組6 市債発行の抑制、市債残高の縮減

- ①長期的な市債残高の縮減に向けた発行抑制
- ②将来負担比率の適正な管理

## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた令和8年度における取組みは？

### 財源の確保

令和8年度の予算編成においては、「歳入の積極的な確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることで、約70億円の財源を確保しました。

#### 財源確保総額

70億円

#### 歳入の積極的な確保

32億円

##### ①市税及び税外債権の確保

10億円

適正課税の推進

10億円

など

##### ②その他歳入の確保

22億円

ふるさと納税寄付の確保

10億円

未利用地の売却・貸付など市有財産の有効活用

7億円

基金の一括運用による利子収入の確保

4億円

など

#### アセットマネジメントの推進

21億円

老朽化に伴う施設更新と併せZEB化を推進し、国補助金等を最大限活用

20億円

道路照明灯・公園照明灯のLED化による電気料削減

0.2億円

など

#### 行政運営の効率化など

17億円

新たな県補助金の確保

5億円

教育情報ネットワークの統合等による効率化

4億円

データ分析による救急車の効率的な配置

0.9億円

など

救急隊の増隊費用をかけることなく、救急車の現場到着時間を短縮

## 福岡市のSDGsの取組みについて

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために、2015年の国連サミットで採択された、2030年を期限とする17の国際目標です。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」に基づき、経済的な成長と、安全・安心で質の高い暮らしのバランスが取れた、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めることにより、SDGsの達成に取り組んでいます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### 財政・予算に関する資料

●福岡市ホームページ <https://www.city.fukuoka.lg.jp>

- ▶ 財政状況については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「決算」あるいは「財政の概要」
- ▶ 予算については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「予算」

#### 財政・予算についてのお問い合わせ

●福岡市財政局財政部財政調整課

電話：092-711-4166

ファックス：092-733-5586

Eメール：zaisei.FB@city.fukuoka.lg.jp

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1